

# 病虫害発生予察指導情報

## (ナシ・クワコナカイガラムシ No.1)

平成18年5月8日  
鳥取県病虫害防除所

### 1. 情報の内容

クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化が5月7日に始まった。平年より7日遅くなっているため、防除時期に注意する必要がある。

### 2. 情報の根拠

- (1) クワコナカイガラムシ卵のうからの越冬世代幼虫のふ化が、平年より7日遅い5月7日(平年:4月30日)に認められた。
- (2) 気象予報によると、向こう1か月の気温は平年並か高いと予想されており、越冬世代幼虫のふ化最盛日は、5月11日前後と見込まれる。

### 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 昨年被害が多かった園では、必ず2回防除を行う。特に、越冬世代は、第1世代および第2世代よりふ化時期が揃いやすいので防除を徹底する。
- (2) 多発園では5～7日間隔で次の時期に2回の防除を行う。
  - ・ 幼虫ふ化最盛期      5月 11～15日
  - ・ 幼虫ふ化終期        5月 16～20日少発園では5月15日前後に1回防除を行う。
- (3) 薬剤はスプラサイド水和剤1,500倍液またはアブロード水和剤1,000倍液などを使用する。
- (4) 薬剤の散布に当たっては、クワコナカイガラムシが集合する枝葉の他、枝の切り口、粗皮下などにも十分かかるようにする。
- (5) 農薬の散布に当たっては、農薬の使用基準を遵守する。